



令和 7(2025)年度

士別市子ども議会 ～チャレンジ応援事業～ 実践報告書



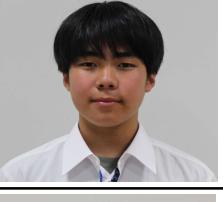
士別市・士別市教育委員会生涯学習部
企画・運営 中央公民館・社会教育課

令和 7 年 11 月 17 日(月)

－ 目 次 －

1	子ども議員名簿	1
2	開催要項	2
3	実践活動の様子	3
4	子ども議員実践報告	
	(1) 魚津 聰一郎 議員(士別中学校)	4
	(2) 谷 英茉 議員(士別中学校)	5
	(3) 会田 奏杜 議員(士別南中学校)	6
	(4) 浅井 辰伍 議員(士別南中学校)	7
	(5) 小野 慶就 議員(士別南中学校)	8
	(6) 上家 莉瑚 議員(上士別中学校)	9
	(7) 黒沼 芙羽 議員(朝日中学校)	10
	(8) 鈴木 菜七子 議員(朝日中学校)	11
5	子ども議会つうしん	12～32
6	事業資料	
	(1) スケジュール表	33
	(2) 実践事業決算書	34～35
	(3) 実践事業当日スケジュール、会場図	36～37
	(4) 実践事業告知ポスター	38
	(5) 報道資料	39～41

令和7(2025)年度 子ども議員名簿

No.	学校名	子ども議員名	ふりがな	学年	性別	写 真
1	士別中学校	魚津 聰一郎	うおつ そういちろう	I	男	
2		谷 英茉	たに えま	I	女	
3	士別南中学校	会田 奏杜	あいた かなと	I	男	
4		浅井 辰伍	あさい しんご	I	男	
5		小野 慶就	おの よしなり	I	男	
6	上士別中学校	上家 莉瑚	かみいえ りこ	I	女	
7	朝日中学校	黒沼 芙羽	くろぬま ふう	I	女	
8		鈴木 菜七子	すずき ななこ	I	女	

令和7年度士別市子ども議会～チャレンジ応援事業～開催要項

- 1 趣 旨 日常生活や学校生活における課題について、市内中学生が考える解決策やアイディアを考案し、実践することによって、まちづくりに主体的に参画する姿勢を育む。
- 2 主 催 士別市・士別市教育委員会
- 3 企画・運営 中央公民館・社会教育課
- 4 協 力 地域おこし協力隊、社会教育士 荒又 拓美 ほか
- 4 日 程 表 別紙のとおり ※進捗状況に応じ日程等の変更あり
- 5 会 場 (1) 任命式及び学習会/士別市民文化センター
(2) 学習会、アイディアの実践/各所
(3) 子ども議会～チャレンジ応援事業～実践報告/士別市議会議場
- 6 対 象 市内4校の生徒会役員等 8名程度
※子ども議員は、市内各中学校から2名程度の推薦とします。
- [例]

学校名	人数
士別中学校	2～3名
士別南中学校	2～3名
上士別中学校	1～2名
朝日中学校	1～2名
- 7 内 容 (1) 任命式及び学習会…「子ども議員」任命書の交付
課題集約、グループ討議等(月2回)
(2) アイディアの実践…隨時(独自政策予算で事業実施)
(3) 子ども議会～チャレンジ応援事業～実践報告
- 8 予 算 政策予算 150,000円
- 9 事 務 局 士別市教育委員会生涯学習部中央公民館
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内
担当) 館長 阿部也寸志
副長 高橋幸人
電話 26-7223 FAX 23-3358

実践活動の様子

1、実践事業概要

お祭り、クイズ大会、ウォークラリー合体イベント

2、イベントタイトル

とっとこ in 士別 & 士別知識王決定戦

3、目的

士別市民やほかの街の人たちに、士別市を知ってもらって好きになってほしい!!

開催日時：令和7(2025)年10月13日（祝日・月曜日）10:00 開始/14:00 終了

場 所：士別市道の駅「羊のまち・侍しべつ」 南側駐車場特設会場

クイズ大会：参加者数 33名（実施 午前の部 10:30~/午後の部 12:30~/）

ウォークラリー：参加者数 43名（実施 10:00~/14:00~/受付随時）

お祭り屋台：特産品販売（トマトジュース、天サイダー、つくもダック）

砂糖オータムフェスタ2025コラボ企画「甜菜重さ当てチャレンジ」



<子ども議会実践報告>

「子ども議会を通して」

士別中学校1年 魚津 聰一郎

私が子ども議会に参加した理由は、子ども議会は一度しか体験できない貴重な機会であり、「ぜひ挑戦してみたい」と思ったからです。自分の意見を発表したり、仲間と協力して何かを作り上げたりする経験は、今後の人生にもきっと役立つと感じたからです。

今回、私たちは「とっこ in 士別ウォーク&士別知識王決定戦」という2つのイベントを企画・実施しました。このイベントを行おうと思ったきっかけは、2つあります。1つ目は、近年SNSやインターネットの普及によって子供を始めとした全世代の人たちが外に出る機会が減り、体を動かす時間が少なくなっていると感じたからです。外で体を動かしながら、楽しみつつ頭も使えるイベントを通して、市民の皆さんに元気になってもらいたいと考えました。

2つ目は、「士別市を知ってもらって、また来てもらう、好きになってもらう」ことを目標に考えました。

士別市は自分の意見ですが他の市と比べると少し活気が少ないと思ったからです。準備の段階では、子ども議会のメンバー全員で何度も話し合い、意見を出し合いながら協力して進めました。個人個人での問題を解決できなかったりしましたが助け合いながら少しずつ形にしていく過程はとても貴重で楽しい経験でした。その結果、実践では大きなトラブルもなく、比較的スムーズに実施できたと思います。

一方で、反省すべき点も多くありました。イベントの終盤には疲れが出てしまい、マイクで声出しをしたり、お客様に対して笑顔ではなくなってしまいました。また、事前にマニュアルを用意していましたが、マニュアルに書かれていない質問を受けた際に、すぐに対応ができませんでした。次はどんな状況にも落ち着いて対応できるよう、もっと準備を大切にしたいと思います。

子ども議会を通して私が学んだことは、「人と協力して物事を進める大切さ」と「人と関わることの難しさ」、そして「大人の方々の支えの大きさ」です。私たち8人の子ども議会の活動を、たくさんの大人の皆さんに裏で支えてくださっていたことを知り、感謝の気持ちでいっぱいになりました。仕事もある中で、準備や打ち合わせに参加・協力してくださったり、当日の運営を手伝ってくださったことに、感謝しています。

また、今回の経験を通して、「たった一人ではできないことも、仲間と協力すれば実現できる」ということを改めて感じました。うまくいかなかったことも含め、すべてが学びであり、次の挑戦につながる貴重な時間でした。

何より嬉しかったのは、当日たくさんの方々が参加してくださり、笑顔で楽しんでくださったことです。その方々を見て、「挑戦してよかったです」と心から思いました。

最後に、今年度の子ども議会に関わってくださったすべての皆様には、本当に感謝しています。学習会や実践で、私たちを支えてくださり、本当にありがとうございました。この経験を生かし、今後もこの地域のためにできることを考え、行動していきたいです。

<子ども議会実践報告>

「子ども議会を通して学んだこと」

士別中学校1年 谷 英菜

私が子ども議会に参加したきっかけは、「子どもでも議員のような体験ができる」「自分のやりたいことが形になるかもしれない」と聞き、やってみたいという好奇心からでした。普段ではできない経験ができることに期待していました。

子ども議会での私の目標は、士別をもっと多くの人に知ってもらい、少しでも地域を盛り上げ楽しんでもらいたいということでした。そのため、10月13日に道の駅で「とっこ in 士別ウォーク」というイベントを行いました。これは子ども議会が提案・企画したお祭りの一部で、士別市内を歩いて巡り、地域の魅力を発見してもらう企画です。

チェックポイントには、「もりや」、「グランドホテル」、「総合体育館」、「中央公園」など市内でよく知られている場所を選びました。しかし、実際にお話を伺うと、知らなかつたことも多く、私自身も総合体育館のメインアリーナの床の材質などの、発見がありました。

当日はウォークラリーに42人が参加してくださり、多くの方に楽しんでいただけたと思います。

子ども議会での目標であった「士別をより多くの方に知っていただくこと」については、ウォークラリーや豆知識、クイズなどを通じて士別の魅力をよく知ってもらうことができたと感じています。また、「地域を盛り上げ、楽しんでいただく」ということも、多くの方から「楽しかった」と笑顔があふれる様子を見ることができました。そのため、今回の目標は達成できたのではないかと思っています。

反省点としては、当初予定していた議会の回数では、アポ取りや企画づくりに想定以上の時間がかかり、追加の話し合いを何度も行う必要があったことです。各回の議会で内容をしっかりと整理・共有していれば、よりスムーズに進められたと感じています。

もし次回があるなら、あまり知られていない場所をチェックポイントに選び、新しい発見を楽しめるよう工夫したいです。また、ラリーカードには健康的な歩き方や運動の効果なども取り入れたいと考えています。

今回の活動を通して、企画を立てて実行することの大変さとともに、企画・運営を行い、来てくださった方々の笑顔を見るこのやりがいを実感しました。初めて出会った仲間と協力し、限られた時間と予算の中でイベントを成功させたことで、大きな自信につながりました。この経験は、子ども議会に参加しなければ得られなかった貴重なもので、子ども議員協力員のみなさんをはじめ、多くの方々の支えがあって実現できたことに、心から感謝しています。

この経験をこれからの中学生生活や将来にしっかり活かしていきたいと思います。



<子ども議会実践報告>

「子ども議会を通して」

士別南中学校1年 会田 奏杜

僕が参加した理由は、普段は考えることも少ない自分の住んでる市を良くするという考え方を、他の学校の人と一緒に考えるという活動に興味を持ったからです。

僕は今回こども議会で「市についてもっと知って、もっと好きになってもらう」という目的で 市に関するお祭りを企画しました。僕はこの活動を通して、ただ楽しいイベントを考えるだけでなく、自分たちの住んでいる市 のことを深く調べたり、どんな魅力があるのかを見つけたりすることができました。最初の話し合いで、「市の人々に士別のことをどう思うようになってほしいか」や「どんな人たちに来てほしいか」など、たくさんのアイデアを出し合いました。話し合いの結果、市の名産品や特産物、観光スポットなどを取り上げることで、来てくれた人が市の良さを知れるようなお祭りにしようと話し合いました。たとえば、市のことを探るクイズ大会や士別市に関する場所を巡るウォークラリーなど、楽しみながら学べる企画を皆で考えました。

僕は一から企画を考えて実際にどんな進め方をするか考えるのが難しかったけど、他のメンバーの意見を聞いたり、自分の意見を出してみたりするうちに、だんだんと自信が持てるようになりました。僕は、グループで協力しながらどんな企画をすれば来た人は士別を知ってくれるか、どんな伝え方だったら楽しみながら士別に興味を持ってもらえるかを考えいくことが大変だったけど、協力して市の為に何かを考えることで自分も士別市の歴史や面白さを知ることができ、一つの物を作り上げる達成感を知ることができました。そして当日は僕は、屋台、ウォークラリーや甜菜の重さ当ての受付をしました。僕は、屋台の仕事をする時たくさんのお客さんが来て、お釣りを渡す時に詰まっていたけど、商品を渡したときに笑顔でありがとうなど感謝の言葉を言ってもらってとてもいい気持ちになりました。僕は最初は人が来るか不安だったけど、どんどん人が来てくれて企画にも沢山の人が参加してくれて、企画した意味があったんだなという気持ちになれました。

僕はこの活動を通して、今まで知らなかった市の魅力を知ることができて、自分達の住んでいる場所のことがより好きになれたと思います。また、自分たちが考えたことで市のことを使って好きになってもらえると思うと、すごくやりがいを感じ、企画を考えて提案することを積極的にできるようになっていました。

僕は今後も今回の経験を活かして、自分の意見をしっかり伝えたり、協力して物事を進めたりできるようになりたいです。そして、自分の住んでいる市をもっと知って、まわりの人にもその良さを伝えていけたらいいなと思いました。



<子ども議会実践報告>

「チャレンジ」

士別南中学校1年 浅井 辰伍

私はいつも学校へ行って、勉強や部活をして家でゆっくり過ごすことが多かったので、イベントや活動に挑戦しようと子ども議会に参加しました。

子ども議会の活動をして、感じたことや考えた企画の反省とよかったです、工夫したところをまとめました。

子ども議会に参加すると面識がない人がたくさんいる上に、子ども議会はどのようにして活動を進めるのかを知らないので、これからうまくいかか心配でした。そう思いながら参加すると、人が嬉しいと思える行動の種類を改めて知ることができ、活動内容を決めるときに思い出して考えられました。その結果、私は正解したらうれしく、運の要素があるクイズ大会をすることにしました。

クイズ大会にしたこと、士別の特産物や建物、特徴を知ってもらいます。また、クイズに1位、2位、3位に景品をつけることで、やる気が出たり、士別について調べたりしてもらいます。

イベントへの作業をする中で、問題づくりや会場のものの配置、進め方を決めるというたくさんの仕事に追われ、なんとかイベント直前に終えることができました。

次にこのイベントをするときは、今回の活動から会場のものの配置を変えなくても良いので、クイズの制作に集中することができ、たくさん作れたり、時間に余裕を持つことができ、進める練習をたくさんしたりできると思いました。また、クイズの答えをあらかじめメモしておくことで、次は何が来るのかわかり、スムーズに進めることができますのでやろうと思います。

クイズ大会で工夫したことは、イベント会場の状況に合わせて進め方や物のセッティングを変えて違和感がないようにしたことです。クイズの問題も工夫をし、わかりやすい問題と難しい問題の数を同じくらいにすることで、「解けなくて悔しい」や正答率がばらばらにならないということを防げました。

子ども議会に関わってくださった皆様、たくさん支えてくださったり、たくさんの考え方を教えてくれたりしていただきありがとうございました。このような経験をしないとわからないことが知れて良かったです。本当にありがとうございました。



<子ども議会実践報告>

「子ども議会での学びと経験」

士別南中学校1年 小野 慶就

僕が子ども議会に参加したきっかけは自分のまだ知らないことを知れるのではないか、普段しない体験をできるのではないかという理由から子ども議会に参加しました。

第一回目は本当に初対面の人たちで全員が全員緊張している様子を見て取れましたが、はじめの方は序盤にハートビーイングなどみんなの距離感を縮めようとしてくれたのもあり次第に壁はなくなっていました。

子ども議会での僕の目標は、士別はあまり地域の皆さんとの交流が少ないと思ったので、地域の皆さんと関わるなにかをしたいということでした。

そのため子ども議員みんなでウォークラリーとクイズ大会を考え実施しました。

僕は他の子達が紹介しているであろうウォークラリーやクイズではなくその時に出す屋台や準備のときにはポスター作成など、どちらかというとサポート側の人間だったのでなるべく本番にみんなが動きやすいようにシフト的なものを作ったりとサポートに回ることが多かったです、本番はそのおかげというのはリスペクトにかけると思いますが、本番にみんな迷いなく動けていたので、シフト等のサポートが少しは役立ったと思います。

反省点としては前回の内容の振り返りや前回の内容を忘れてしまうことで毎回時間を無駄にしてしまっていたので引き継ぎをあとのために作っておけば良かったことと、個人としてはみんなの進行を遅らせてしまう行動があったのではないかと後悔しています。

またこのような機会があったら反省点を活かし、そしてその周りの子をうまく楽しませて良いイベントにしたいです。そして今度は時間に余裕を持ったイベントにしたいです。

今回の企画全体を通して、お金のかかる事による責任感等のプレッシャーを体感できる機会になりました。それ以外は自分の力を最大限とはいきませんが、やることはやった、という実感と、数年ぶりに売る側としての体験をできたという満足感がありました。

子ども議会を通し、たくさんの経験をしました。その経験は公民館を始め大人の皆様の協力があったからこそだと思います皆様の協力があり活動できしたこと心から感謝申し上げます。

この経験をこれからの中学校生活での生徒会の場や委員会の場に活かしていきたいと思います。



<子ども議会実践報告>

「子ども議会に参加して学んだこと」

上士別中学校1年 上家 莉瑚

私が子ども議会に参加したきっかけは、「子ども議会ってなんだろう」「他校の生徒と関わってみたい」という気持ちからでした。

学習会を進めていく過程で、参加前に比べて「士別市をより良くしたい」という気持ちが強まり、士別市の課題を発見していくことができました。そのため、運動不足解消を目的としたウォークラリー、士別を市内・市外の人に知ってもらうためのクイズ王決定戦、皆さんに士別の特産品を知ってもらい、味わってもらうための屋台を企画しました。

特に私が担当した「とっこ in 士別ウォーク」は、運動不足の解消だけでなく、「士別の良さを再発見してもらう」という目的がありました。チェックポイントとなる場所についてのお話を伺ったり、探求したりする中で、今まで自分の知らなかつたことが多くありました。

当日は、自分が予想していたよりもたくさんの方が参加してくださり、目的を達成できたのではないかと思います。

反省点としては、前半の学習会で、やるべきことがうまくまとまらず、「次は何をしたらいいのだろう」と手が止まってしまったところです。「その日、何をまとめるのか」を毎時間確認することが大切だと感じました。

もう一度実践事業があるなら、ウォークラリーの内容を少し変えたいと思います。士別市は自然に囲まれているので、参加する方が運動不足の解消とともに士別市の自然を知れる企画をしてみたいです。

今回の議会を通して、自分たちで1から企画し、実践することの大変さを実感しました。限られた時間の中で「どうしたらお客様に楽しんでもらえるか。」「どうしたら士別を知ってもらえるのか。」など、たくさんの課題に向き合いました。

また、他の学校の生徒との関わりを深めていき、今まで自分になかった新たな発見や思いつきがあり、それと同時に自分の成長を感じました。

今回の学びと成長は、子ども議会に参加しなければ得られなかったものだと感じています。

大人の方、そして士別市民の方々の協力がなければ実現できなかつたことだと思います。

心から感謝しています。

子ども議会で得た学びを、これからの中学校生活や、進路実現に活かしていきたいと思います。



<子ども議会実践報告>

「子ども議会での企画を実践した感想と学んだこと」

朝日中学校1年 黒沼 芙羽

私が子ども議会に参加した理由は、前の子ども議会と変わったと聞いて、自分にもできるのではないかと思い、不安もあったけど一人じゃないし、やってみようかなと思ったからです。子ども議会に初めて行ったとき、私達以外、知り合いいっぱいだったから、すごく不安だったけど、みんな予想以上に話しかけてくれてちょっと不安がなくなりました。

私達は人口減少や地域交流、他の地域の人たちとの交流などを課題として「とっとこ in 士別&士別知識王決定戦」を実施しました。

私達がウォークラリーとクイズを実施した理由は、運動不足の解消や、より深く士別を知って、楽しんでほしい・好きになってほしい、他の市の人や年齢問わず多様な人との交流などを増やしたいという思いから企画しました。

今回の実践事業では、特産品などを売るお祭り班と、ウォークラリーの企画などをするウォークラリー班と、クイズを作るクイズ班に分かれていきました。私はクイズ班だったのでクイズを作ったり、クイズに出てきたお店などを調べて説明を書いていました。クイズは全15問で、同じ順位の人がいたとき用に早押し問題を3問作りました。クイズは何個か問題を作るとすぐにネタが無くなってしまってクイズの作成に結構な時間がかかってしまいました。クイズの作成以外は、優勝者の賞状や、子ども議会で売っているものが買える商品券を作ったりクイズの進行の仕方などを考えたりしていました。私は、クイズの作成もしていましたが、賞状や商品券のデザイン、受付のところに受付のところだってわかる紙をつくりました。大変だったことは、クイズ作成に時間がかかってしまって、あまり本番の動きを確認できていなかったので、色々用意するときにあわててしまったり、逆光でモニターが見えなくて、場所を移動したりもしたことと、たまたま売り場に人がいなかっただときに、接客の練習などをしていなかったため、あまり対応ができなかったことです。もう少しスムーズにクイズの作成ができていたら、本番の流れの確認などができたのではないかなと思いました。

今回の実践事業をやって良かったなと思ったところは、予想以上に人が来てくれて、クイズも最初は参加人数が壊滅的だったけど、呼び込みを頑張ったり、仲間たちに手伝ってもらったりして、ほぼ満員も参加してくれて嬉しかったこと、受付に来てくれたお客様などと意外とコミュニケーションがとれたことです。一から何かを企画することって学校外で簡単にできる体験ではないので、いい経験になったと思うからです。市外から来ている人も少しいたけど、ほぼ士別市民だったので、市内の人たちの交流はできたんじゃないかなと思います。

もしまた子ども議員になるとしたら、昔の遊びを通して士別の歴史などを知ることができるイベントをやりたいです。

私は今まで、他の学校の生徒とあまり関わる機会がなく、前に出て何かをすることも好きじゃないので、不安でしたが今回の実践事業では、意見を出したり、自分から進んで何かをすることを前より少しできるようになった気がします。今回の活動を活かして、今後も自主的に行動できるように頑張っていきたいです。

<子ども議会実践報告>

「子ども議会を通して学んだこと」

朝日中学校1年 鈴木 菜七子

私が子ども議会に参加した理由は、先生に子ども議会ではどのような活動をするのかを聞いて、いつもの学校生活では経験できないことができると思ったからです。

今回の実践事業をやろうと思った理由は、色々な世代の人同士で交流できる場が少ないと思ったことと、市内の人でも市外の人でも気軽に参加できるイベントをつくろうと思ったからです。

企画段階では3つの班に分かれました。私は屋台の班になり、屋台のことや祭り全体の準備・企画をやりました。準備期間は、実際に道の駅に行き、当日に販売する商品を決めたり、道の駅の職員の方に発注に関する質問などをしました。

今回実践事業をやってみて考えた反省点は2つあります。

まず1つ目は、最初からマイクでの呼びかけをやっておけばよかったということです。最初はみんなためらってマイクをあまり使用していなかったけれど、慣れてきて呼びかけが増えてからお客様の数が多くなっていったので、最初からもっと呼びかけをしておけばお客様ももっと増えたのではないかと思いました。

2つ目は、終盤にかかり、呼びかけをしなくなってしまったということです。クイズをやっているときは邪魔にならないようにマイクが使えなかつたので、大きな声を出して呼びかけをしなくてはいけないとき、みんな疲れていてできなかつたことがありました。当日はシフト制で、2人ずつに分かれて活動をしていたので、疲れているんだったら1人ずつ適度な休憩を挟めば良かったと思いました。

次に今回の実践事業で良かったと思うことは2つあります。

まず1つ目は、マイクで話すのが苦手な子の代わりに話すのが得意な議員がお手本としてマイクで呼びかけをしていたことです。自分もまだマイクに慣れていなかつた時にその呼びかけを聞いて、参考になったからです。

2つ目は、トマトジュースの試飲です。企画の段階ではトマトジュースの試飲は予定していなかつたけれど、準備期間最後の子ども議会で提案されました。当日は試飲をするお客様が多く、味を実際に確認し、気に入った商品を買うことで通常より売上が伸びたと思います。

私は今まで他校の生徒と関わりや士別市民と交流する機会がなかつたので、子ども議会で今まで話したことがない人と関わってみることで普段では感じられない新鮮さや刺激を感じました。また、一からイベントを企画してやり遂げることでみんなと達成感を感じることができ、さらにお互いのことを理解することができました。このイベントを行うことで、市外から人が来たり、人々が世代関係なくイベントに参加することができたので士別市の課題は以前より解決することができたと思います。もし、もう一度子ども議員になれるなら、今回と同じように気軽に運動ができたり、士別について簡単に学ぶことができるイベントをやりたいです。

今後は子ども議会で学んだ協調性や企画性などの力を日常生活や学校でも活用していくたいです。

<子ども議会つうしん>



士別市子ども議会つうしん
2025年第1号 令和7年7月7日

発行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年7月1日(火) 任命式/士別市民文化センター研修室

市長から市内中学生8名に、子ども議員の「任命書」を交付しました。

今年度も昨年度に引き続き、市内中学生の日常生活や学校生活における課題について、子ども議員のみんなで解決策を考え、**自分たちで課題解決に向けた行動に挑戦し、市長に実践報告を行います！**

2025子ども議員					
士別中学校	魚津 聰一郎さん	谷 英茉さん			
士別南中学校	会田 奏杜さん	浅井 辰伍さん	小野 慶就さん		
上士別中学校	上家 莉瑚さん				
朝日中学校	黒沼 芙羽さん	鈴木 菜七子さん			

令和7年7月1日(火) 第1回学習会/士別市民文化センター研修室

事業説明～中央公民館 阿部

昨年度から、子ども議員1人1人が「身近な困りごとや、街をより良くするための方策を考えて実際にやってみる!!」をコンセプトに、本年度も第1回目の学習会を実施しました。事業説明では、昨年の「ゆるっと運動会」や「高齢者福祉施設で交流」の様子を、映像を交えながら紹介しました。今回はどんな実践プランが提示されるか期待が膨らみます。



ワークショップ① ハートビーイング

～協力員 泉田さん

子ども議員の皆さんには今回が初顔合わせとなります。まずは自分のことやお互いのことを知ろう!!とゆうことで、2グループに分かれ「ハートビーイングWS」を実施。模造紙に描いたハートの内外に、「自分がされていやなこと」「自分がされてうれしいこと」などを自由に書き、最後はみんなで発表を行いました。終始活発な意見が交わされ、子ども議員や協力員の方々にとってとても有意義な時間となりました。



ワークショップ② 子ども議会トーク

～協力員 荒又さん

ワークシートを使い、より具体的に自分のことを紹介。「好きなこと」「最近頑張っていること」などを発表しみんなで共有。ワークシートには「子ども議員になった理由」「子ども議会でどんなことをしてみたい?」といった質問もあり、子ども議員からは「いろんな経験をしたい」「少しでもいいから士別の役に立ちたい」などといった意見が発表されていました。



<子ども議会つうしん>



士別市子ども議会つうしん
2025年第2号 令和7年7月22日

発 行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年7月8日(火) 第2回学習会/士別市民文化センター会議室1

ワークショップ①

困りごとの解決と夢の実現の話し ~協力員 泉田さん

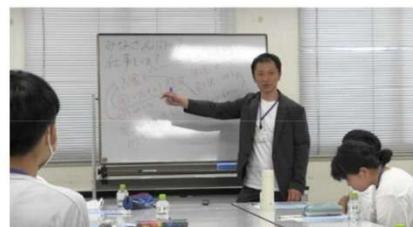
「みんなにとっての仕事とは？」について、子ども議員にイメージを聞いてみました。

～子ども議員からの発言～

「お金」「困ったものを解決する」「自分の好きなこと」「人の邪魔をしない」
「やりがい」「人を助ける」「生活のため」「勉強になる」「誰かのために」など

いろいろとイメージが出される中で、「仕事とは？」の問を、大人と子どもと一緒に考えてみると、すべてのイメージが「仕事」につながり、全てが正解であると気づきました。

また、お話しの中では、必ずしもお金を稼ぐということだけが仕事ではなく、「人を助けると、助けた人が幸せになり、結果お金につながった」や「好きなことを貫き通したら、結果お金につながった」など、考え方の視点についても語られ、全体のまとめでは、**誰かの困りごとを解決することや、誰かの夢の実現を後押しすることが結果「仕事」になる。**と意識の共有を図りました。



ワークショップ ②-1

どんな「困りごとの解決」と「夢の実現」があるだろう？

～協力員 石川さん

2人1組のペアワークを実施。世の中にある「困りごとの解決」や「夢の実現」について考えてみました。まずは個人で考え、ペアと共有し、最後には発表を行い以下のような内容が発表されていました。

- ・私が思う困りごとの解決は、警察や消防士などの仕事、家事や給食準備など、日常での手伝い。人の話を聞いたり、自分の話を聞いてもうことで解決ができると思う。
- ・夢を実現するためには「具体的に」「色々な人の話を聞く」「自分の意見を述べる」「勉強して知る」そして「実践する」ということが、大事なんじゃないかと思う。
- …など



ワークショップ ②-2

自分たちが経験した困りごとの解決と夢の実現 ～協力員 杉浦さん

つづいて、実際に自分が経験したことのある「困りごとの解決」や「夢の実現・目標の達成」について、小さなことから大きなことまでそれぞれ考えてみました。

<以下、発表内容>

■困りごとの解決

- ・日常での手伝い ・勉強を教えてあげた・小学校の校則変えた
- ・みんなの前で上手に発表できる方法を教えてあげた
- ・勉強を教えてあげた ・ボランティアに参加した



■夢の実現、目標達成

- ・部活に入った ・海外へ行った ・スポーツの大会で勝った
- ・泳げるようになった ・面白い企画を考えて実現した

ワークショップ ③

子ども議員としてやってみたいこと？ ～協力員 荒又さん

第2回学習会の最後は、「子ども議員としてやってみたいこと？」についてそれぞれ考えてみました。ワークショップでは、昨年実践した「事業の目的」などが紹介される中で、今回の実践は「アイデアを数多く出してもらい、その中から子ども議員による投票で内容を決定していく」として、最終的には「皆で協力し合い一つのものを実践する予定」といたしました。次回の学習会では、子ども議員が考えた実践アイデアの発表と、内容の検討を行う予定です。

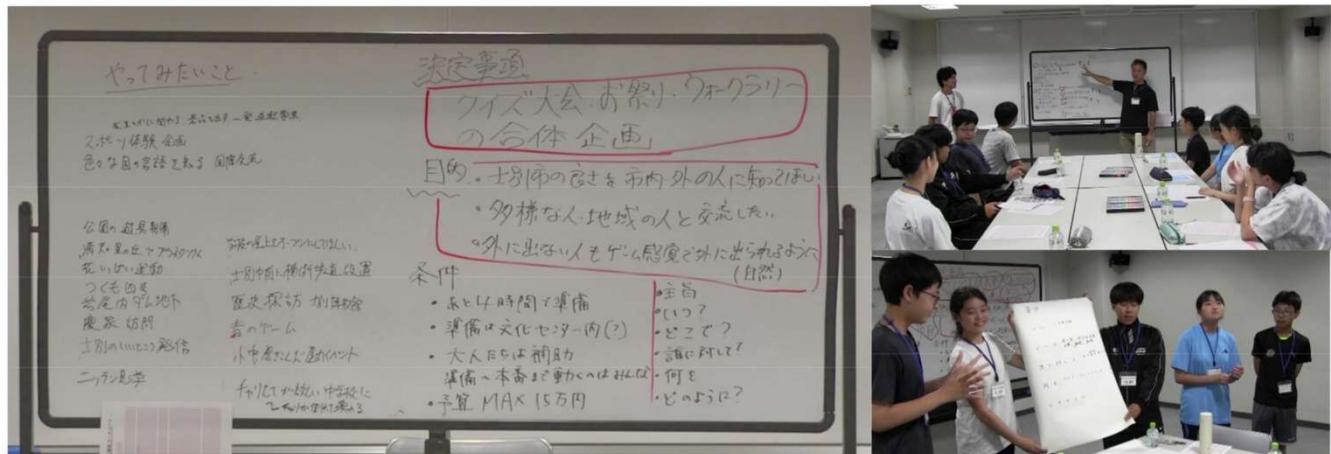


<子ども議会つうしん>



士別市子ども議会つうしん
2025年第3号 令和7年8月5日

発行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年7月24日(木) 第3回学習会/士別市民文化センター視聴覚室

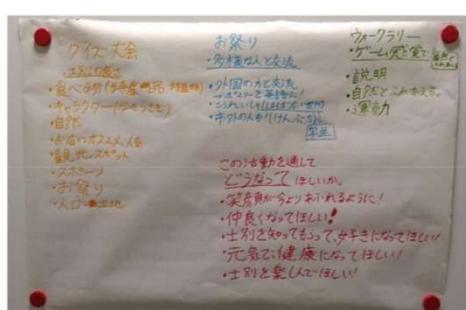
ワークショップ①

実践内容の検討～協力員 泉田さん、杉浦さん

第3回目の学習会では、本年度実践する企画内容の検討を行いました。

まずは、自らの発想でやってみたいことを自由に発言してもらい、各種イベントや学校生活に関する内容などが提案されていました。

つづいて、みんなから出た内容の類似性に着目し、1つの事業として合体できるか検証を行い、最終的にみんなで1つの企画を実践するとゆう条件のもと、子ども議員の中で「投票」により企画案を決定いたしました。



～ 子ども議員のアイデア～

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ・2択か3択のクイズ大会 | ・農家さんへの訪問 |
| ・スポーツを体験する企画 | ・士別のいいところ発信 |
| ・いろいろな国の言語を知る企画 | ・日甜見学 |
| ・おまつり | ・学校の屋上開放 |
| ・ウォークラリー | ・士別中学校の前に横断歩道設置 |
| ・公園遊具の整備 | ・歴史探訪 |
| ・満天の星の丘で、自然プラネタリウム | ・昔のゲーム |
| ・花いっぱい運動 | ・小・中学生を巻き込んだ屋内イベント |
| ・つくも4号を使った料理 | ・全学校に自電車立て設置 |
| ・岩尾内ダム地下見学 | |

～ 以下合体された企画案～

合体案1 クイズ大会・おまつり・ウォークラリーの合体企画

合体案2 満天の星空・歴史探訪・昔のゲームの合体企画

合体案3 学校屋上開放・横断歩道設置・自転車立て設置の要望企画

■■■ 子ども議員投票の結果 ■■■

クイズ大会・おまつり・ウォークラリーの合体企画を実践予定

ワークショップ②

実践内容の趣旨・詳細を考える～協力員 荒又さん、石川さん

残りの時間を使って、2グループに分かれ企画の趣旨や詳細について考えてみました。

● 参加する皆さんへ企画を通してどうなってほしい？

- ・笑顔が今よりあふれるように！
- ・仲良くなってほしい！
- ・士別を知ってもらって、好きになってほしい！
- ・元気で健康になってほしい！
- ・士別を楽しんでほしい！



● いつ、どこで、誰に対して、何を？

- ・いつ … 9月以降、9月下旬
- ・どこで … 道の駅又は総合体育館を候補地
- ・誰に … 主に市民（多世代）・特に若者
- ・何を … クイズ、ウォークラリー、屋台



次回以降はさらに詳細を考えて準備に移る予定です。

準備段階で企画内容に変更が生じる場合もございますのでご了承ください。

<子ども議会つうしん>



士別市子ども議会つうしん
2025年第4号 令和7年8月19日

発 行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年8月7日(木) 第4回学習会/士別市民文化センター視聴覚室

ワークショップ①

実践内容の検討～協力員 荒又さん、石川さん、泉田さん、杉浦さん

第4回目の学習会では、前回決めた実践案「クイズ大会・お祭り・ウォークラリーの合体企画」についてさらに掘り下げ、詳細内容についての検討を行いました。

まずは、「クイズ班」「お祭り班」「ウォークラリー班」の3つのグループに分かれ、それぞれ目的の再確認を行うほか、インターネット端末を駆使しながら、事業アイデアの収集などを行い、後半では全体発表で情報の共有を行いました。

- ク イ ズ 班 … 浅井さん（南中）、黒沼さん（朝中）
- お 祭 り 班 … 会田さん（南中）、小野さん（南中）、鈴木さん（朝中）
- ウォークラリー班 … 魚津さん（土中）、上家さん（上中）

<目的のおさらいと、場所・日時の大枠検討>

- 目的… 運動不足解消、外に出ない人を呼び出す、多様な人と交流、士別を知る
- 場所… 道の駅 ※最有力候補地
- 日時… 土・日・祝日のいずれか。 開始 10:00 or 11:00・終了 15:00 or 17:00



<個別グループ内検討事項>

- クイズ班 … スタート地点は道の駅として、どのくらいの行動範囲、所要時間とするのか？ チェクポイントをどうするか？
- お祭り班 … 物の販売をするか？（特産品など）、会場配置をどうするか？
- ウォークラリー班 … クイズの内容をどうするか？

<個別グループ内検討 情報共有・全体発表>

○クイズ班

- ・クイズの題材として「士別の良いところ」を伝えるクイズ
「食べ物」「キャラクター」「自然」「人口」「地理」「観光スポット」「スポーツ」「お祭り」など
- ・具体的なクイズネタ
食べ物 : ジンギスカン、サフォークラム、天サイダー、など
キャラクター : さほっち(羊田黒助)、ジャンパン、ミーちゃん、など
地理 : 士別市の面積、人口、など
観光スポット : 羊と雲の丘、博物館、岩尾内、など
スポーツ : スキー、陸上、カーリング、パークゴルフ、など

○お祭り班

- ・屋台について検討
以前案で出ていた「つくも4号」の特産物を加工したり、直で売ることを検討。特産物関係なら精通する機関に相談することも視野に入れる。
- ・場所について
開催場所については道の駅、南側駐車場小スペースを検討。

○ウォークラリー班

- ・ルールの基礎
道の駅をスタートとして、3つのポイントを回り、道の駅に帰ってくる。
各ポイントでクイズを出題することを予定。
- ・検討中のルート
ウォークラリーの立ち寄りポイントについて、街中商店など2案を発表。



■■■ 最後に、実施日の検討と今後の予定 ■■■

- 最後に、実施日程の検討を行った結果、10月中旬の土日・祝祭日を予定(10/11, 12, 13)することとなりました。
- 実施予定日から、イベント準備などの時間を考え、今後の学習会日程を「追加・変更」することといたしました。

<子ども議会つうしん>



士別市子ども議会つうしん
2025年第5号 令和7年8月28日

発 行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年8月21日(木) 第5回学習会/士別市民文化センター会議室1

事前情報提供

第5回目の学習会実施にあたって、前回までの学習会で実践候補地として検討されていた「道の駅」の使用状況について、事務局より次の通り情報提供を行いました。



○前提の実践候補日

10月11日（土）、12日（日）、13日（祝・月）いずれか1日で開催

○道の駅状況

10月11日から13日にかけて、他のイベントでも使用されており、限定的ではあるが、南側駐車スペースを一部通行止めにして来客スペースとして使用は可能。

○その他情報

候補日での開催について、他のイベント主催者と協力が図れる可能性があるほか、集客において相乗効果も期待できる。

○今後の日程追加・変更提案

10月中旬の実践本番に向け、準備作業に大きく時間がかかる予想されるため、9月以降の日程追加・変更案を提示

ワークショップ

実践内容の検討～協力員 荒又さん、泉田さん

事務局より提供のあった情報を前提に、日程・事業内容・今後の計画について、個々具体的な内容の検討と準備作業を行いました。

また、実践予定日で同日開催される他のイベントとの協調を図ることとして、今後の情報収集と協力の可能性について、事務局対応で探ることといたしました。

○クイズ班 … 浅井さん（南中）、黒沼さん（朝中）

○お祭り班 … 会田さん（南中）、小野さん（南中）、鈴木さん（朝中）

○ウォークラリー班 … 魚津さん（土中）、谷さん（土中）上家さん（上中）



<個別グループ内検討・作業>

○クイズ班

- ・クイズ問題の作成（プレゼンテーションソフト使用、士別を題材）
- ・クイズ形式の検討（3択形式、出題にはテレビモニター・PC使用）
- ・クイズ大会実施時間（午前・午後の部の2部構成）

○お祭り班

- ・道の駅、イベント会場配置の検討（道の駅南側駐車場、テント設置）
- ・今後の作業日程検討（9/4 ポスター作り・販売商品発注、9/11 告知、9/25 備品確認発注）
- ・販売商品検討（天サイダー、つくも4号商品関連）
- ・告知原案の検討・作成（他の班へタイトルなど9/4までに決めるよう要請）

○ウォークラリー班

- ・経路設計 道の駅→A地点→B地点→C地点→D地点→道の駅
所要時間 30分程度
- ・経路の検討 Googleアースを利用し経路検討
- ・内容検討 各4地点にスタッフ配置、スタンプラリー形式も検討、各地点の紹介事項などを作成し参加者へ提供

■■■ 最後に、次回までに決めることを各班ごとに整理 ■■■

企画のタイトル決め、景品内容の発注検討、告知ポスター作成、クイズ作成、ウォークラリー詳細決め
関係先アポイントどり（お願い原稿作成）、仕入れ品発注検討、などなど…

■■■ その他事務局より ■■■

同日開催される、他イベントの新着情報について、次回の学習会で事務局より報告

<子ども議会つうしん>



士別市子ども議会つうしん
2025年第6号 令和7年9月9日

発 行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年9月4日(木) 第6回学習会/士別市民文化センター 視聴覚室

事前情報提供

第6回目の学習会実施にあたって、10月11日から13日の実践候補日で同日開催される他のイベントについての新着情報を事務局より提供し、日程の決定と他のイベントとの協調について検討いたしました。

<事務局情報提供>

- 10月13日（祝・月）に道の駅で「砂糖オータムフェスタ」が開かれる
- 主催者より同日開催とする場合、以下について協力いただけるか検討要請あり
要請内容 / 天サイダーの販売、甜菜重さ当てチャレンジの運営
- テントの配置について、「砂糖オータムフェスタ」と一体的に配置することも可能
- 道の駅では10月11日～13日の期間を「秋祭り」と定め告知を作成、その中で子ども議会イベントの概要について掲載可能

<提示された「実施日程」「協力要請」について、以下の通り提案し採決>

- 案1、実践日程を10月13日（祝・月）10:00～14:00とする
- 案2、天サイダー販売、甜菜重さ当てチャレンジの運営を子ども議会として行う

■出席子ども議員全員一致により、案1・2について実施することを決定■

ワークショップ

実践内容の検討～協力員 荒又さん、泉田さん、杉浦さん

前段、協力員荒又さんより、同時開催される「砂糖オータムフェスタ」のことは別として、初動の段階でみんなで話し合って決めた「思いや目的」を常に認識しながら、子ども議員として主体的に実践するべきことを考え作業にあたるよう方向性を定め、今回決めるイベントタイトル、告知概要、関係先協力依頼などの作業にあたりました。

- ク イ ズ 班 … 浅井さん（南中）、黒沼さん（朝中）
- お 祭 り 班 … 会田さん（南中）、小野さん（南中）、鈴木さん（朝中）
- ウォークラリー班 … 魚津さん（土中）、谷さん（土中）



9/4 決定概要

【イベントタイトル】

2025 子ども議会～チャレンジ応援事業～

とつとこ in 士別ウォーク & 士別知識王決定戦

【実践日程】

- ・日 時 令和7年10月13日（祝日・月）開始 10:00～14:00
- ・場 所 道の駅 南側駐車場特設テント（雨天決行）

【子ども議会商品販売】

- ・天サイダー ・つくも4号関連商品



【子ども議会イベント】

<3択クイズ大会>

子ども議会特設テント受付

午前の部 受付 10:00・開始 10:30 / 午後の部 受付 12:00・開始 12:30

<市内ウォークラリー>

子ども議会特設テント随時受付 ※30分程度の市内ウォークラリー

<甜菜重さ当てチャレンジ>

子ども議会特設テント随時受付・参加賞先着200名様

<子ども議会つうしん>

**士別市子ども議会
～チャレンジ応援事業～
2025**

士別市子ども議会つうしん
2025年第7号 令和7年9月19日

発行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内

10月13日(祝日・月) 10:00~14:00

2025子ども議会～チャレンジ応援事業～
とっとこ in 士別ウォーク&士別知識王決定戦 開催!!



令和7年9月11日(木) 第7回学習会/士別市民文化センター 研修室

現地調査・関係先協力依頼

第7回学習会では、前回の学習会で計画された関係先への協力依頼対応を行いました。

また、子ども議員からの要望を受け、イベント会場の視察や販売商品の内容調査を実施し、各所を訪問して活動を進めました。

(1) 現地調査・商品確認～協力員 荒又さん、杉浦さん

調査対応…会田さん、浅井さん、鈴木さん

調査先…道の駅 羊のまち侍・しふつさん

クイズ班とお祭り班では合同でイベント会場となる道の駅へ視察に出向き、道の駅職員さんのご協力のもと、実施場所の確認や借用可能な物品の聞き取りのほか、当日販売予定の天サイダーの価格や、つくも4号関連商品の種別などについて聞き取り調査を行い、商品の仕入れに関する相談なども行いました。



(2) ウォークラリー関係先協力依頼 ~ 協力員 泉田さん

依頼対応 … 魚津さん、谷さん、上家さん

協力依頼先 … 北の菓子工房 もり屋さん、士別グランドホテルさん、総合体育館さん

ウォークラリー班では、チェックポイントとして計画された市内のお店や公共施設に出向き、今回行うイベント内容の説明や当日の場所利用についてのお願いを行うほか、イベント内で紹介するお店や施設の「豆知識」について聞き取りを行いました。



北の菓子工房 もり屋 さん



士別市総合体育館 さん



士別グランドホテル さん



情報の整理

実践内容の検討 ~ 協力員 荒又さん、泉田さん、杉浦さん

各地訪問後、お祭り班では、販売商品の検討や値段の再確認、イベント告知ポスター第一原稿の作成、クイズ班では、参加賞や特賞内容の検討などを行い、ウォークラリー班では、チェックポイントの確定から地図の作成や参加賞の内容検討など、それぞれより具体的な準備作業に取り組みました。

次回学習会では、告知ポスターの完成、発注品の確定、豆知識の再確認と作成などを予定しております。



・・・ おわりに ・・・

イベント協力にご快諾いただいた、北の菓子工房 もり屋さん
士別グランドホテルの支配人さん、士別市総合体育館職員の皆さん、また、道の駅の調査にご対応いただいた駅長さんと職員さん、すべての皆様へ心より感謝申し上げます。

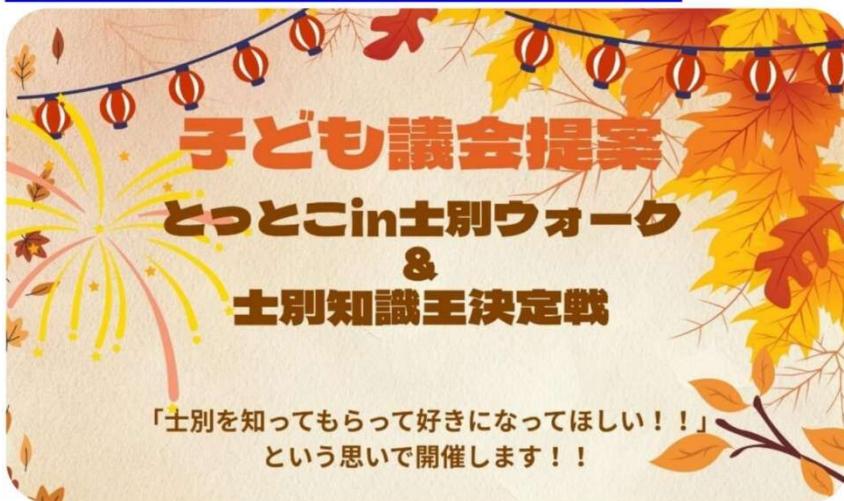


＜子ども議会つうしん＞



士別市子ども議会つうしん 2025年第8号 令和7年10月3日

発行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年9月25日(木) 第8回学習会/士別市民文化センター会議室2

事務局情報提供・作業依頼

第8回学習会では、事前に事務局より前回からの積み残しとなっていた、告知ポスターの完成とウォークラリー豆知識取材の作業依頼を行うほか、想定される発注商品と使用道具をリスト化し、子ども議員へ情報提供したうえで、内容の確認と検討作業の依頼を行いました。

そのほか、9/11 時点での情報から、イベントに関わるおよその予算額を算出し、子ども議員へ説明を行いました。



実践準備作業

実践内容の検討 … 協力員 荒又さん、泉田さん、杉浦さん、石川さん

前段事務局からの説明をうけ、お祭り班、ウォークラリー班、クイズ班それぞれ発注品の確認や再検討を行うほか、積み残された個別案件の準備作業にあたりました。

<クイズ班> … 浅井さん、黒沼さん

- ・クイズ会場、実施方法の検討
- ・クイズ問題の制作・再確認

<お祭り班> … 会田さん、小野さん

- ・告知ポスター完成（所属する各中学校へ自ら掲示依頼を実施）
- ・イベント当日のシフト作成
- ・販売商品の発注内容確定



<ウォークラリー班> … 魚津さん、谷さん、上家さん

- ・総体及び士別グランドホテルへ豆知識聞き取り訪問
訪問者：魚津さん、谷さん、上家さん
- ・随行者：協力員 泉田さん / 中央公民館職員



- ・スタンプカードのデザイン作成・完成
- ・カード用シールの発注品選定及び確定
- ・参加賞の発注内容確定

次回実施内容の整理 … 協力員 荒又さん、泉田さん、杉浦さん、石川さん

いよいよ告知ポスターも完成し、次回は最終準備の日となります。

内容を確認し次回作業の整理を行いました。

<クイズ班> … 浅井さん、黒沼さん

- ・クイズ問題作成（あと3問+解答説明）
- ・クイズ実施ルールの確認
- ・当日使用道具の確認とPOP作成

<お祭り班> … 会田さん、小野さん

- ・当日スケジュールの確認、シフト体制の確認
- ・POP作成

<ウォークラリー班> … 魚津さん、谷さん、上家さん

- ・スタンプカード地図の印刷
- ・机などの配置検討

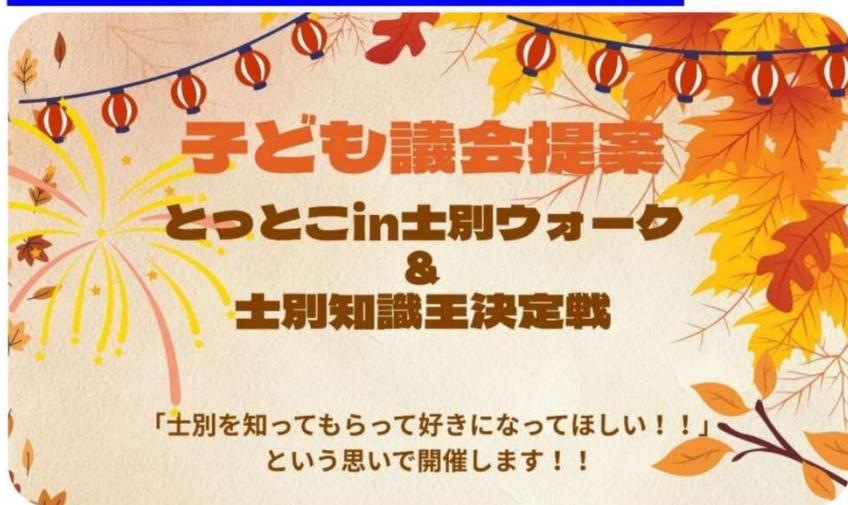


<子ども議会つうしん>



士別市子ども議会つうしん
2025年第9号 令和7年10月15日

発 行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年10月9日(木) 第9回学習会/士別市民文化センター視聴覚室

事務局情報提供・最終確認の要請

第9回学習会では冒頭、ウォークラリーチェックポイント担当者として協力いただく社会教育課職員と子ども議員の顔合わせを行いました。

その後、事務局よりイベント当日のスケジュール案を提示・説明を行い、当日の子ども議員の移動方法などを確認するほか、「商品発注内容」「イベント会場レイアウト」「使用物品」「予算」について、第8回学習会にて提示した内容から変更された点について説明を行い、当日の使用物品については、子ども議員内で最終チェックを行い、不足物品がある場合は当日中に事務局へ伝達することを要請いたしました。



実践準備作業

実践内容の検討 … 協力員 荒又さん、泉田さん、杉浦さん、石川さん

前回の第8回学習会後段で整理した、「次回実施すること」を中心に準備対応にあたり事務局より現物提供のあった、各種使用道具や納入品の確認を行うほか、クイズ・ウォークラリー班では、参加者受付の方法やクイズ大会実施の予行演習を行いました。

また、お祭り班では新たなアイデアが検討され、トマトジュースの販売促進を目的に、試飲を実施することとなりました。

<クイズ班> … 浅井さん、黒沼さん

- ・クイズ会場、実施方法の検討
- ・クイズ問題の制作・再確認
- ・クイズ出題方法の予行演習
- ・使用道具の確認、追加品の依頼（トップウォッチ）



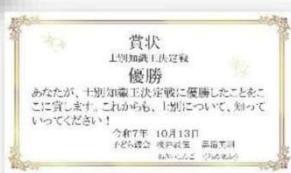
<お祭り班> … 会田さん、小野さん、鈴木さん

- ・商品値段の案内表示作成
- ・トマトジュース試飲の検討
- ・使用道具の確認、追加品の依頼（試飲用紙コップ）
- ・10/13 各受付担当シフトの全体説明



<ウォークラリー班> … 魚津さん、谷さん、上家さん

- ・スタンプカードの印刷
- ・納品済みカード用シールの検収
- ・ウォークラリー受付案内、ルールー案内の作成
- ・受付方法テキストの作成、予行演習
- ・使用道具の確認



<子ども議会つうしん>



士別市子ども議会つうしん
2025年第10号 令和7年10月17日

発行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年10月16日(木) 第11回学習会/士別市民文化センター視聴覚

実践事業のふりかえり

第11回学習会では、10月13日（祝日・月）士別市道の駅で開催された実践イベント「とっとこ in 士別ウォーク&士別知識王決定戦」をふりかえりながら、「そもそもなぜこの企画をやろうと思ったのか？」「イベント実施にあたって自分なりに工夫したところは？」など、協力者とともに子ども議員それぞれ考えてみることとしました。

学習会後段では「また同じメンバーで、企画するとしたら何をやりたいか？」を考えてみたところ、子ども議員からはさらに色々なアイデアや意見が出されていたところです。

次の学習会では、いよいよ市長への報告書をまとめる日となります。子ども議員へは、次の学習会までに家庭内でそれぞれ報告書の内容をまとめ、持ち寄っていただくよう宿題形式とさせていただきました。



ふりかえりの詳細

協力員 荒又さん、泉田さん、杉浦さん、石川さん

■■■ 以下、子ども議員への質問と回答 ■■■

●このイベントをなぜ企画したのか目的の確認

- ・多様な人との交流
- ・家の中にいる人を外へ引っ張ってくる
- ・みんなの仲を深めるため
- ・士別を好きになってもらってもう一回来てもうたため
- ・最後にみんなに笑顔になってもらうため
- ・士別の良さをもっと知ってほしい
- ・士別を楽しんでほしい
- ・色々な層の人同士で交流できる
- ・気軽に運動ができる
- ・私たち自身が士別の魅力をもっと知りたい など…

Q 次やろが
・後に残るもの
・横断歩道
・井戸立ア
・屋上開放
・清流屋上ア見込み
・分かつてやない
・2days 下やない
・チラフ系
・運動会 (角館ビア)

博覧会とか連携して営業するの
・甲斐アバーム
・昔の物
・E2ボーリ
・海水浴場交流
・本音版ホクム
・信号杆等増やれ
・アスホリアシカレハ
・ご飯新体

●目的達成のために工夫したこととは？

- ・クイズの時に、ただ答えを出すだけじゃなく解説を入れ、解説を入れることでその問題の答えや問題について細かく知ってもらえるようにした。
- ・商品券の賞金金額を全て特産物の名前にすることによって、印象に残りやすいようにした。
- ・ウォークラリーカードに豆知識を入れることで、歩いている時間でも暇にならないように工夫した。
- ・担当シフトを作成し、本番動きやすいように工夫した。
- ・何をすれば屋台からも士別の知識などを紹介できるかというところで、トマトジュース試飲の実施や商品紹介などを作成した。
- ・マイクを使って声かけし、説明は丁寧にすることを心掛けた。
- ・お客様と会話することで親しみやすくしたり、会話に商品の説明などを入れた。
- ・クイズ出題のときわかりやすくするため、1回だけじゃなくて2回繰り返しアンウンスした。
- ・当日はできるだけ、接客する時にお客さんと目を合わせることを意識した。 など…

●次、まったく同じイベントを実施するとしたらどのような改善がある？

- ・ウォークラリーについて、歩き方の解説みたいなものを入れてみたい。
- ・クイズを出題し次の場所に行くみたいなものを作って、訪問場所を増やしたい。
- ・クイズの正解をスライド以外に、紙などにメモをすればよかった。
- ・学生が来るような工夫をしたい。
- ・午後になってもお客様が集まるような工夫を考えたい。
- ・接客のコツをあまり考えてなかったので、次はしっかり接客できるようになりたい。
- ・アンウンスで、ウォークラリーとかクイズの内容とか店の商品とか、もう少し説明が出来たらお客様増えたかもと思った。 など…

↓↓上記以外に以下の振り返りを行いましたが、枠の都合上割愛させていただきます。↓↓

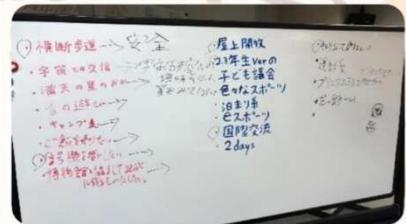
- ・イベント効果の割合は？（自己評価）
- ・改めてこのイベントは楽しかった？
- ・どんな課題意識があつてこの企画に定めた？
- ・再度同じメンバーで地域課題解決のための企画をするとしたら何をやりたい？

士別市子ども議会 ～チャレンジ応援事業～ **2025**

士別市子ども議会つうしん
2025年第11号 令和7年10月27日

発 行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館

企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年10月23日(木) 第12回学習会/士別市民文化センター 視聴覚室

実践報告書の作成ほか 協力員 荒又さん、泉田さん、石川さん、杉浦さん

第12回学習会では、前回の振り返りをもとに各家庭内で作成してきた個別の報告書を、協力員のアドバイスを得ながら、添削、構成など各々修正作業にあたりました。

内容については、この子ども議会に参加した「きっかけ」や「目的」、実践してみて「感じたこと」や「学んだこと」など、それぞれの思いが報告書につづられていました。

また学習会の後段では、実践事業を検討する過程において提案されたが、実施に至らなかつたものや、前回の学習会で新たに発想されたものを振り返り「もう一度子ども議員として実践するならば何をするか?」といった形で意見まとめ、子どもの視点や発想の再確認を行いました。



実践報告会は、11月17日（月）を予定しております。

<事業資料>

(1) スケジュール表

令和7年度子ども議会～チャレンジ応援事業～スケジュール

子ども議会任命式・学習会					
回数	月	日	曜日	会 場	内 容
①	7	1	火	文センター 研修室	任命式・第1回 学習会

アイデアプラン作成・準備					
回数	月	日	曜日	会 場	内 容
②	7	8	火	文化センター 会議室①	第2回 学習会・プラン作成
③	7	24	木	文化センター 視聴覚室	第3回 学習会・プラン作成
④	8	7	木	文化センター 視聴覚室	第4回 プラン作成・実践準備
⑤	8	21	木	文化センター 会議室①	第5回 実践準備
⑥	9	4	木	文化センター 視聴覚室	第6回 実践準備
⑦	9	11	木	文化センター 研修室	第7回 実践準備
⑧	9	25	木	文化センター 会議室②	第8回 実践準備
⑨	10	9	木	文化センター 視聴覚室	第9回 実践準備

アイデア実践 10月13日(祝日・月)					
回数	月	日	曜日	会 場	内 容
⑩	10	13	祝・月	道の駅 南側駐車場特設テント 開始 10:00 終了 14:00	第10回 アイデア実践 <イベントタイトル> とっこ in 士別ウォーク & 士別知識王決定戦 ※ ウォークラリー、クイズ大会、お祭り合体企画 ※

実践まとめ					
回数	月	日	曜日	会 場	内 容
⑪	10	16	木	文化センター 視聴覚室	第11回 実践報告作成
⑫	10	23	木	文化センター 視聴覚室	第12回 実践報告作成

子ども議会～チャレンジ応援事業～ 実践報告 11月17日(月)					
回数	月	日	曜日	会 場	内 容
⑬	11	17	月	土別市議会議場	実践報告会 開始 16:15～

※実施時間は、⑩をのぞいていずれも 16:00 開始、18:00 終了

<事業資料>

(2) 実践事業決算書

士別市子ども議会実践事業

とっとこin士別ウォーク & 士別知識王決定戦 事業決算

開催日：令和7年10月13日(祝日・月) 10:00～14:00 / 場所：士別市道の駅「羊のまち侍・しべつ」

【収入】

区分	予算	決算	差引	適用
士別市実践事業予算	150,000	150,000	0	
お祭り商品販売売上金	71,180	38,426	32,754	士別市雑入に収入
合 計	221,180	188,426	32,754	

【支出】

区分	予算	決算	差引	適用
需用費				
消耗品 トマトジュー 結び	18,900	9,450	9,450	販売 4・試飲 1・返品 5
〃 トマトジュー クリア	19,440	19,440	0	販売 6・試飲 2・返品 0・クイズ景品 2
〃 トマトジュー ヘイジー	19,440	9,720	9,720	販売 4・試飲 2・返品 5
〃 天サイダー	12,600	13,650	▲ 1,050	販売 33・返品 7・クイズ参加賞 32
〃 つくもダック	16,100	13,340	2,760	販売 28・返品 12・クイズ景品 30
〃 子持ち綿羊	7,500	7,500	0	ウォークラリー参加賞
〃 うんめ～ばい	5,490	5,490	0	ウォークラリー参加賞
〃 ごほうびシール	2,000	880	1,120	
〃 ケント紙	3,000	2,288	712	
〃 半透明レジ袋	400	451	▲ 51	
食糧費 スタッフ弁当	19,000	19,000	0	1食 1,000円×19名
合計	123,870	101,209	22,661	

歳入歳出差引合計(剩余金) 97,310 87,217 10,093

金銭処理

一般会計歳入合計 (雑入処理)	38,426
一般会計歳出合計 (子ども議会事業費)	101,209
実質の実践事業経費	62,783

●クイズ大会参加者 33名 (午前の部 17名 ※1名途中棄権 / 午後の部 16名)

●ウォークラリー参加者 43名 (定員30名を超えた方への参加賞は、甜菜重さ当てチャレンジ参加賞を流用)

令和7年10月13日（祝日・月） 子ども議会実践（道の駅仕入れ関係決算）

●道の駅仕入れ発注品

態様	品名	個数	単価	金額
仕入れ	トマトジュース 結び	10	1,890	18,900
仕入れ	トマトジュース クリア	10	1,944	19,440
仕入れ	トマトジュース ヘイジー	10	1,944	19,440
仕入れ	天サイダー 3箱	72	210	15,120
仕入れ	つくもダック	70	230	16,100
仕入れ	子持ち綿羊	30	250	7,500
仕入れ	うんめ～パイ	30	183	5,490
計		101,990		

●道の駅商品返品

態様	個数	単価	金額
返品	▲ 5	1,890	▲ 9,450
返品	0	1,944	0
返品	▲ 5	1,944	▲ 9,720
返品	▲ 7	210	▲ 1,470
返品	▲ 12	230	▲ 2,760
返品	0	250	0
返品	0	183	0
計		▲ 23,400	

●道の駅請求額

態様	個数	単価	金額
請求	5	1,890	9,450
請求	10	1,944	19,440
請求	5	1,944	9,720
請求	65	210	13,650
請求	58	230	13,340
請求	30	250	7,500
請求	30	183	5,490
実質仕入れ額			78,590

(一般会計歳出)

●お祭り

態様	品名	個数	単価	金額
試飲	トマトジュース 結び	1	1,890	1,890
試飲	トマトジュース クリア	2	1,944	3,888
試飲	トマトジュース ヘイジー	2	1,944	3,888
経費			9,666	

●お祭り実質販売額

品名	態様	個数	単価	金額
トマトジュース 結び	販売	4	1,890	7,560
トマトジュース クリア	販売	6	1,944	11,664
トマトジュース ヘイジー	販売	3	1,944	5,832
天サイダー	販売	33	210	6,930
つくもダック	販売	28	230	6,440
実質売上額			38,426	

(一般会計雑入受け入れ)

●クイズ大会

態様	品名	個数	単価	金額
景品	天サイダー	32	210	6,720
景品	1位 トマト クリア	2	1,944	3,888
景品	つくもダック	12	230	2,760
景品	2位 つくもダック	10	230	2,300
景品	3位 つくもダック	8	230	1,840
経費			17,508	

※中途棄権者 1名（参加賞未提供）

道の駅関係経費 40,164

●ウォークラリー

態様	品名	個数	単価	金額
景品	子持ち綿羊	30	250	7,500
景品	うんめ～パイ	30	183	5,490
経費			12,990	

<事業資料>

(3) 実践事業当日スケジュール、会場図

10/13 道の駅レイアウト R7.10.13 確定版 子ども議会

<スケジュール>

7:30 生徒お迎え
8:00 集合
8:00~9:00
道具おろし・テント設営・机設営・椅子設営
9:00~10:00
商品陳列・受付準備

10:00 開始
・甜菜重さ当て（先着 200 名）
・商品販売随時開始
・ウォーク随時受付開始（先着 30 名）

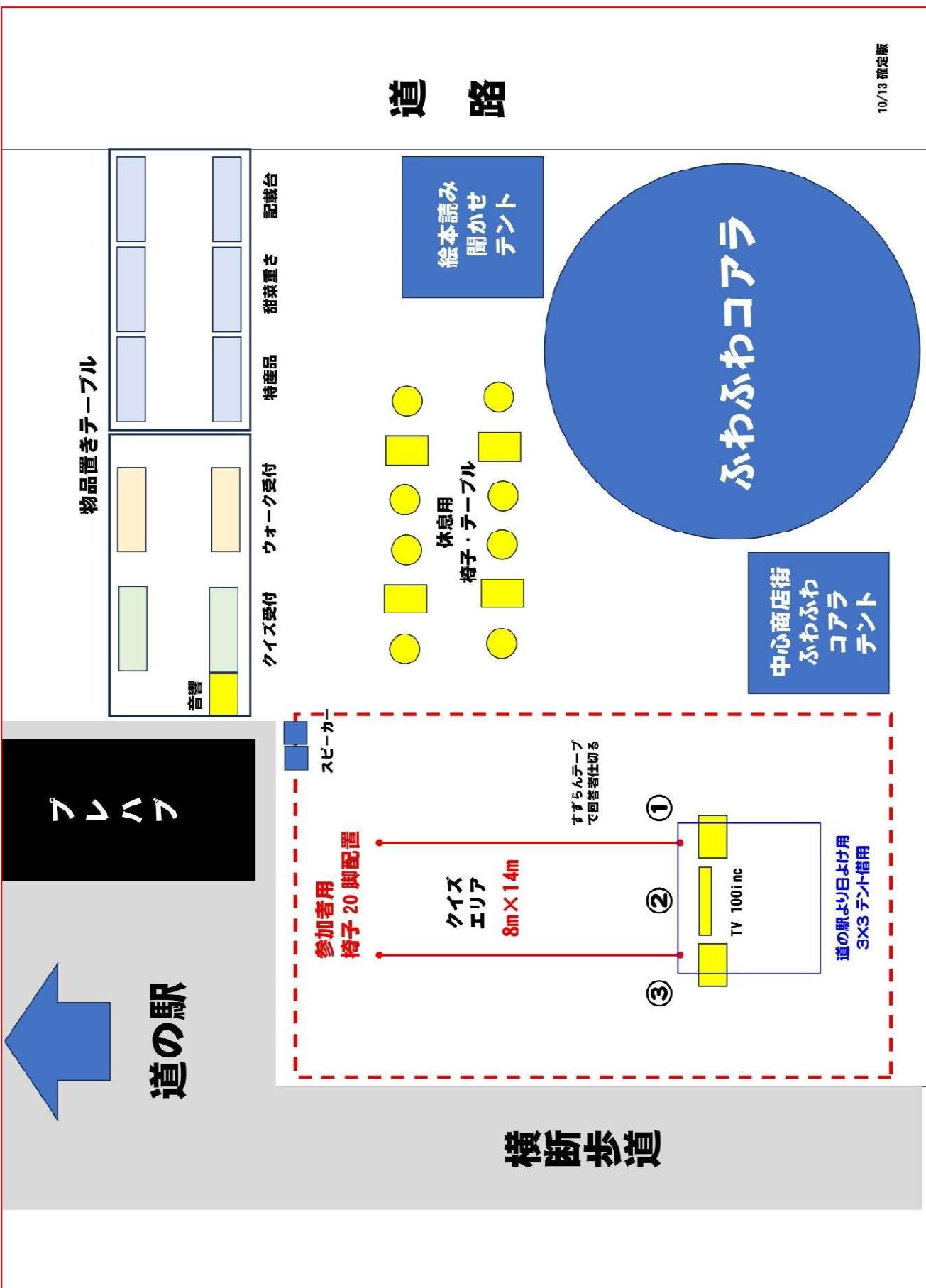
10:00 クイズ受付（午前の部）
10:30 クイズ本番（午前の部）
11:30 クイズ終了（午前の部）
～昼食随時～
12:00 クイズ受付（午後の部）
12:30 クイズ本番（午後の部）
13:30 クイズ終了（午後の部）

14:00 終了

14:00 以降 片付け・車積み込み



■実践事業詳細図面





士別知識王決定戦

各20名定員

午前の部 受付10:00 開始10:30	午後の部 受付12:00 開始12:30
----------------------------	----------------------------

3位以上の方にはお祭りで使える
商品券をプレゼントします！！
参加賞 先着40名様

とっとこin土別ウォーク

随時受付
ウォークラリー 30分程度
参加賞 先着30名様

士別特産品屋台

子ども議員が選んだ
土別の特産品を販売します！！

甜菜重さ当てチャレンジ

随時受付
参加賞 先着200名様

〈事業資料〉 （5）報道資料

■令和7年10月4日掲載 道北日報記事



■令和7年10月15日掲載 北都新聞記事



- 39 -



大別の特産品販賣

士別市の子ども議会は13日、道の駅「羊のまち 侍・しぶつ」で「どんこー」「士別ウオーク&士別知識王決定戦」を行った。今回の取り組みは、7月に任命を受けた8人の子ども議員が勉強会を重ねてきた成果として行った実践活動。イベントには多くの市民が参加し、「子ども議会が提案した活動を楽しんでいた。(村山功)

一十別市一

子ども議会

子ども議会 道の駅での 実践活動が盛況



イベントを企画した子ども議員

知識王決定戦や
特産品の販売も

子ども議会は、市
内の子どもたちに議
会の仕組みを学びな

がら政治や行政に対する興味を持つてもらい、自分たちの「まち」に対する意見や考え方を提言する機会として2012年初めて開催。

一昨年度までは行政や議会、まちづくりについて学び、その成果を本会議場で提案する一般質問形式で行っていたが、昨年度からチャレンジ応援事業として、地域の将来を担う子どもたちにより具体的なまちづくりへのかかわりを持つてもらおうと、学校生活

や日常生活での課題とその解決策を探り、課題解決に向けた実践活動を行う形式で行っている。

本年度の子ども議会は、7月に渡辺英次市長が市内8人の中学生を子ども議員として任命。その後、市民有志のアドバイザーの協力を得て学習会やワークショップを重ねながらまちづくりについて学び、実践活動について話し合ってきた。

そうして開催したのがとっとこいんすきわーく&士別別識王決定戦。多くの市民に「士別のことにより知つてもらいたい」と、市内4カ所にチエック

は?」など市民なればだれもが分かるうな問題から「土生の森林面積は?」「宿で一番多く訪れる層は?」など、何をひねるような簡単問題を用意し、参加者たちを悩ませていた。士別特産品屋台は、士別産のトマトジュースや菓子、サイダーなどを販売していた。

今回のイベント企画した子ども議論は、「多くの人たちが、参加してもらいたくて、つてみてよかつた」や「子どもから大人までが楽しめた」イベントが少ないのではないかと、にぎわいをつくることができるかが、かつた」と話して、

A black and white photograph showing a long line of people, mostly elderly, standing outdoors. They are all wearing face masks and holding small white cards or documents. The line starts in the foreground and extends into the background under a clear sky. In the background, there are several large white tents and a red umbrella, suggesting a public event or a temporary facility like a vaccination center.

盛り上がった士別知識王決定戦

ポイントを設けてそこを歩きめぐるところ、ヒト別ウオーカーと、土別市に関するクイズを出題する。土別知識王決定戦、そして子ども議員が選んだ士別の特産品を販売する士別特産品屋台を行った。

士別知識王決定戦では、参加者に3択のクイズ15問を出題して、その正解数を

- 40 -

(1) 令和7年(2025年)10月22日(水曜日) (毎曜日休刊 定)

刺針

士別市から任命を受けている子ども議員の面々が13日に、市内の道の駅で「とつとこ in 士別ウォーカー別知識王決定戦」と題したイベントを開催した。子ども議会は、まちづくりへの興味を持つてもらうことで、自分たちの「まち」に対する意見や考えを提言していくこと、2012年から行っている市長が子ども議員を任命。以前までは一般質問形式で、子ども議員が町の課題解決やまちづくりについて提言していた。

7月の任命後から学習会などを行なながら、自ら企画して取り組んだ実践活動が「とつとこ in 士別ウォーカー別知識王決定戦」だつた。

当日は多くの市民が集まる。仲間たちと話し合うことでコミュニケーション能力を楽しんでいた。子ども議員たちもイベントを終え「やつてよかつた」と感想を述べた。

昨年度からは、より具体的なまちづくりへのかかわりを持ってもらおうと、学校生活や日常生活での課題とその解決策を探り、課題解決に向けた実践活動を行う形式で行っている。本年度は市内の8人の中学生が子ども議員となり、7月の任命後から学習会などを実践することの意義は大きい。

自らの企画を実践することで「自分の意見や行動が社会に影響を与えること」を実感できることは、日常生活ではなかなか得ることのできない貴重な体験となる。

子どもたちは、未来の地域を担っていくべき重要な人材である。子どもたちがまちづくりに参画することは、人材育成とともに、地域の未来を育していくことともいえ、こうした機会を数多く設けることのできる地域であつてもらいたい。

(功)

2025 士別市子ども議会～チャレンジ応援事業～

「とっとこ in 士別ウォーク & 士別知識王決定戦」

士別を知ってもらって好きになってほしい!!

この企画は、士別市をもっと好きになってもらおうとするための企画です。



■主 催 士別市・士別市教育委員会

■企画・運営 中央公民館 / 社会教育課

■協 力 員 荒又 拓美（社会教育士、地域おこし協力隊）

石川 陽介（エストアール代表）

泉田 陽介（司法書士法人いづみだ代表）

杉浦 謙（地域おこし協力隊）

■協力企業 北の菓子工房 もり屋

士別グランドホテル

士別市総合体育館（一般財団法人 士別市スポーツ協会）

士別市道の駅（まちづくり士別株式会社）